

会 議 録

※要点筆記

会 議 の 名 称	第2回 波賀生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成30年9月27日（木）19時30分～21時00分	
開 催 場 所	波賀市民局 第2会議室	
委 員 長 氏	松本貞人	
委 氏	（出席者） 松本貞人、坂本幸子、中岡宰、中谷浩臣、松本繁信、志水温子、平まきえ、安室美和、岡田周三、尾前和彦、小椋貴弘、中田浩一、可藤由紀、船積雅司、名畑健一	（欠席者） 加藤智子
事 務 氏	波賀市民局：坂口市民局長、長田副局長、上杉係長、松木専門員 企画総務部：坂根部長、水口次長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、清水係長、大畑主査	
傍 聴 人 数	0名	
会議の公開・非公開の区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開 会 2 あいさつ（委員長） 3 協議事項について 4 その他 5 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認	10月9日に松本委員長に確認	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1 開 会
委員長	2 あいさつ
事務局	3 協議事項 資料説明（生活圏の利便性の向上・賑わいの創出に向けて、将来を考えたうえで、買い物・交通、子育て・教育、生きがい・趣味、スポーツの4つの区分に分けて生活の利便性の向上・賑わいの創出につながる方策と拠点について意見交換）
委員	7月4日の若者未来ミーティングに参加した。若者の自由な発想と意見を参考にしてもらえれば、今後おもしろいものができるかもしれない。
委員	①買い物・交通について Aコープが閉店して以降、マックスバリュなど南部へ買物に出かけている。波賀でおかずの買物をする場所が少なく、不安もある。何かできることはないかと考えている。
委員長	Aコープの閉店を受けて、5月に「波賀流通元気プロジェクト」を立ち上げ、すでに3回会議をしている。ファミリーマートも興味を示しており地元とタイアップしたいとのことで自治会長会でも説明されている。
副委員長	たつの市のアマネカフェが発起人となり、JAハリマの協力を得てAコープ波賀跡地でウィークデーマーケットを開催している。大阪屋、栃尾商店も出店し、JAハリマも日用品雑貨を販売した。今後、月に1回開催することになり、次回は10月5日の予定。
委員	波賀町では、衣服の購入が困難で町外に出たときのついでに食材も購入するようにしている。
委員	子どもの遊び場が少なく、また、近くにショッピングセンターがあればと思う。
委員	若い世代は車で買い物に行くので困っていないが、高齢者の方や車に乗れない方は困っている。ネットショッピングでも購入しているが、高齢者の方

	<p>向けに購入の仕方を伝えられる場があれば、困難な買い物を乗り切ることができ、交流や生きがいにもなる。</p>
委員長	<p>Aコープの販売車・ひまわり号では、最後の家へ行った時には売り切れている状況があるようで買えないことがある。</p>
委員	<p>上野の高齢者の方と郵便局へ一緒に行ったときに、上野商店街も昔はいろいろなお店があったことを聞いた。千種町は今もいろいろな商店があると言われていた。</p>
委員	<p>市民センター波賀を改修するのであれば、調理室もきれいにし、おかずを作り提供できればと思う。</p>
委員	<p>②子育て・教育について メイプル福祉センターに幼稚園を入れたらどうか。安賀には幼小中の連携など教育施設を集約するとよいのでは。</p>
委員	<p>安賀は教育ゾーンとするのがいい。上野は行政・福祉・買い物の拠点となればよいのでは。</p>
委員	<p>子どもの人数が減っていく中で、波賀だけで学校を維持するのは困難なのではないか。将来、一宮と一緒になるかもしれないので、もっと先を見据えて考えるべきではないか。</p>
委員	<p>波賀幼稚園の園児は18人で園庭の広さは充分で、人数が少ないからダメというわけではない。少ない人数でも学べることはたくさんあり波賀幼稚園は残したい。歩いて小学校へ行けて、その道中も楽しんでいる、読み聞かせなども行っており今のままがよい。メイプル福祉センターを幼稚園にするのなら、園庭もしっかり確保してもらわなければならない。</p>
委員	<p>子どもが幼稚園と保育園へ通っている。それぞれの良さがあり、人数は少ないながらもいろいろ学んでいる。幼稚園の立地条件は今がベスト。改革が必要だとは思わない。</p>
委員	<p>中学校単独では、部活動が成り立たなくなっており、他校との合同練習の移動手段としてスクールバスがあるが、路線バスを無料にするなど子どもたちだけで移動できるように、交通手段をカバーすることで各学校を維持して</p>

委員	<p>ほしい。</p> <p>子どもを塾に行かすにしても距離が遠いので負担が大きい。可能であるなら、波賀町内で塾的な対応ができればありがたい。波賀小学校では早朝勉強をするが、都会では塾にいつているので早朝に学校へは行かないようで、高校、大学への進学を思えば都会と田舎では格差を感じている。</p>
委員	<p>③生きがい・趣味について</p> <p>市民センター波賀は生涯学習として活用している。芸術、芸能は元気が出るし、多くの人と触れ合えるので文化活動は強化していくべきである。今年も第45回文化のつどいを11月10日、11日に予定しており、演技や展示を行いながら、文化活動をしていることをPRする予定。市民センター波賀利用者は高齢者が主体で老朽化している施設なので使い勝手が悪く、手狭で機能的ではないので市民センター波賀の見直しをお願いしたい。文化交流がもっとできるようなれればと思う。</p>
委員	<p>高齢者が多いので平屋がよいが、2階建てになるとしてもエレベータは設置してほしい。</p>
委員	<p>趣味が多種多様となり人数が集まりづらい。文化活動について生きがいを持ってもらい活性化や健康のためにも取り組んでもらいたい。</p>
委員	<p>文化協会登録団員が不便なく使える施設が必要。拠点を作るなら交通網を整備して集まれるようにしなければならない。車がない方の移動手段を確保してほしい。</p>
委員長	<p>移動手段としてバスが運行されているが曜日が限られている。地域で路線を確保するよう乗車に取り組んでいる。</p>
委員	<p>1便の利用数を確認すると0.4人や0.5人の実績で交通網の整備と運行数の問題は、赤字路線のことも考えると難しい課題だと思う。今年は、特に台風等により避難することが多い年になっている。新しい市民センターは、避難所の拠点ともなるようにしてほしい。</p>
委員	<p>新しい市民センターでは食料品売場を1階にすればよい。ひまわり号はほしいものを事前にタブレット等を使って注文するようになれば、道中に商品が無くなり最後の人が買えないということは解消できる。</p>

委員	<p>④スポーツについて</p> <p>ジュニアスポーツの環境整備として大人も一緒にみんなでスポーツをできるようにするシステムが必要である。また、カヌー競技者との交流として、大会参加者が地域の行事に参加できればと思う。最後に、歩くことは体にいいことなので、もっとウォーキングを推進していくべきだと思う。</p>
委員	<p>人口が少なく施設を分散させると寂しくなるので、施設をジャンルで分けるのではなく集約して賑わいのある場所にしてほしい。そこへ行けば何でもできる、子どもから高齢者まで誰でも寄れる、交流も買い物もできるというような拠点が理想的だと考える。</p>
委員長	<p>次回は「拠点はどこがいいのか」について考えることとしたい。</p> <p>4 その他 次回の開催日程 10月25日（木）19：30から波賀市民局第2会議室で開催</p> <p>5 閉会</p>